

事業番号

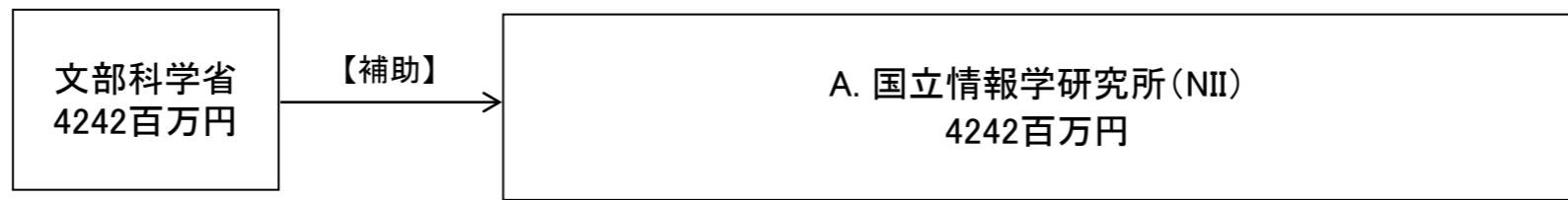
2023 - 文科 - 新24 - 0017

令和5年度行政事業レビューシート		( 文部科学省 )					
事業名	生成AIモデルの透明性・信頼性の確保に向けた研究開発拠点形成			担当部局	研究振興局	作成責任者	
事業開始年度	令和5年度	事業終了(予定)年度	令和10年度	担当課室	参事官(情報担当)	参事官(情報担当) 嶋崎 政一	
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)等		
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-3 オープンサイエンスとデータ駆動型研究等の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-05.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	国立情報学研究所(NII)において、産学官の研究力を結集したアカデミア研究拠点を構築し、①基盤モデルに関する研究力・開発力醸成のための環境整備および②基盤モデルの学習原理の解明等による信頼性の確保等を行う。さらに、③基盤モデルの高度化に資する研究開発を通じて、AIの進化、ひいては将来に渡った革新的なイノベーションの創出に貢献する。 ※基盤モデル:大量かつ多様なデータで訓練され、多様な下流タスクに適応できるモデルのこと。基盤モデルを活用することで生成AIを含め様々な用途に活用可能なAIを作成することができる。						
現状・課題(5行程度以内)	大規模言語モデル等の基盤モデルの構築や、生成AIを活用したサービスの開発が世界中の民間企業・研究機関において活発となっている。基盤モデルおよび生成AIは、我が国全体の生産性向上のみならず、様々な社会課題解決に資する可能性がある。一方で、AIがどのようなアルゴリズムに基づき回答しているかなどの「透明性」や、AIが誤った回答をしていないのかなどの「信頼性」の懸念もあり、これらの課題に対応していくことが必要である。また、基盤モデルに関する基盤的な研究力・開発力を醸成するため、アカデミアを中心とした一定規模のオープンな基盤モデルを構築できる環境を整備し、一連の知識と経験を蓄積することが重要である。						
事業概要(5行程度以内)	国立情報学研究所(NII)において、アカデミアを中心とした一定規模のオープンな基盤モデルを構築できる環境を整備し、基盤モデルに関する基盤的な研究力・開発力の醸成および基盤モデルの学習原理の解明等による透明性・信頼性確保を目指す。また、研究活動を通じ、一連の知識と経験を蓄積し、広く共有を図る。						
事業概要URL							
実施方法	補助						
補助率等	補助対象:実施機関、補助率:定額						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)	予算の状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	4,242	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	4,242	2,987
		執行額(G)	-	-	-	-	-
		執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究振興費			基盤モデルの透明性・信頼性に資する研究開発とともに、研究用モデル構築およびモデルの高度化に取り組む機関を支援するための経費であり、既存事業では対応できないため、新規要求 重要政策推進枠2,987百万円		
	(目)	人工知能等社会実装研究拠点事業費補助金		2,986			
	(目)	委員等旅費		1			
	(目)	諸謝金		0			
	(目)	庁費		0			
	(目)	その他	-	▲0			
	計(A)	-	2,987				

活動内容① (アクティビティ)	基盤モデルの透明性・信頼性の向上に資する研究開発を行うとともに、研究用モデル構築およびモデルの高度化に取り組む機関を支援する。									
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
	アカデミアにおけるオープンな研究開発拠点の構築	拠点において事業推進に必要とされる研究チームの充足度合	活動実績	%	-	-	-	-	-	
			当初見込み	%	-	-	-	-	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	拠点において研究活動を行うための環境整備が行われた後、効果発現の初期段階として、まずは、研究に用いる一定規模の基盤モデルを構築するため、拠点において構築された研究用基盤モデルの規模を短期アウトカムとして設定した。 (アウトプット指標の目標値を設定できない理由:事業実施機関との調整次第であるため。)								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
	研究開発拠点における、一定規模の研究用の基盤モデルの構築	研究開発拠点において構築された研究用基盤モデルのパラメータ数	成果実績	個	-	-	-	-		
			目標値	個	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	事業実施者より聴取 (短期アウトカム指標の目標値を設定できない理由:事業実施機関との調整次第であるため。)									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	研究活動を行うための環境整備および研究に用いる一定規模の基盤モデルが構築されることによって成果創出に繋がると考えられるため、論文数・学会発表数を指標とし、研究開発成果創出を中期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
	拠点における研究開発成果の創出	拠点における、基盤モデルの原理解明等の研究開発成果に基づく論文数・学会発表数	成果実績	件	-	-	-	-		
			目標値	件	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	事業実施者より聴取 (中期アウトカム指標の目標値を設定できない理由:事業実施機関との調整次第であるため。)									
↓	成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)	拠点において研究成果を継続的に創出することで、研究活動がさらに活発になることによって様々な機関からの研究者・技術者の参画・育成に寄与し、基盤モデルの構築および高度化についての一連の知識・経験の蓄積に繋がると考えられるため、拠点に参画している研究者・技術者の人数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
	基盤モデルの構築および高度化についての一連の知識・経験の蓄積	拠点に参画している研究者・技術者の人数	成果実績	人	-	-	-	-		
			目標値	人	-	-	-	-		
達成度	%	-	-	-	-					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	事業実施者より聴取 (長期アウトカム指標の目標値を設定できない理由:事業実施機関との調整次第であるため。)									
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



基盤モデルの透明性・信頼性の確保に資する研究開発とともに、研究用モデル構築およびモデルの高度化に取り組む

アカデミアにおいて一定規模のオープンな基盤モデルを構築できる環境を整備し、基盤モデルに関する基盤的な研究力・開発力の醸成および基盤モデルの学習原理の解明等による透明性・信頼性確保を目指す。また、

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			B.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
-		-	-		-
計			計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック